

がんばれ 倉田哲郎！

熱い声援、大きな期待に包まれた 4月11日「新しい箕面をつくる」集会（箕面再生市民の会・主催）レポート

がんばれ ガンバレ がんばれ ガンバレ がんばれ ガンバレ がんばれ ガンバレ がんばれ ガンバレ がんばれ ガンバレ がんばれ

平成20年4月11日、この日が箕面市にとって歴史的な日になることを確信していた私は、開始30分前、メイプルホールに到着した。倉田哲郎さんの名乗り上げの日なのだ。

主催者である「箕面再生市民の会」会長のあいさつでいよいよ集会が始まった。続いて倉田哲郎さんのプロフィールが映像で紹介される。おそらく、倉田哲郎さんを映像にせよ初めて見る人も多いのだろう、食い入るように見る人が多い。

そして、午後7時30分、本人登場。「まさか、お立ちいただいている方もいるとは、驚きと感謝で…」倉田哲郎さんの第一声で初めて後ろを振り返った私は驚いた。

500人の席が埋まるばかりか、最後尾や両脇の壁に、人、人、人…の列。通路に座り込んでいる方も、

そこかしこにいるではないか。

倉田哲郎さんは、箕面の明日にかける思いを熱く語った。その真剣さに会場は引き込まれ聴き入っていた。



倉田哲郎さんの話は、何よりも分かりやすかった。熱意が感じられた。誠実さがこもっていた。この三拍子こそ、まさにリーダーに不可欠な要素ではないか。

倉田哲郎さんの話の後には、応援する市民から6人の方が登壇、同じ33歳の若者たちや同じ真年の方などが、笑いを誘いながら倉田哲郎さんへの期待を語った。

会場に入れなかった人も含め1,000人近くの人が今日体験した、この感動の輪が間違いなく広がっていくことを確信した。

（栗生新家 匿名）

同世代も倉田哲郎さんを応援します！「若者の市政参加が広がる予感」

私は箕面生まれで箕面育ち、現在も箕面で仕事をしています。私は33歳で倉田哲郎さんと同じ歳です。箕面のリーダーとして「若い」ということは、創造力豊かでパワフルですが、一方、「不安だ…」という声もあるかとも思います。でも、倉田哲郎さんと

いろいろ話してみると、私たちの質問に本当に誠実にそして的確に答えてくれ、じっくり広い視野から物事を考える方だとわかりました。箕面市役所での経験も十分に活かしてくれると非常に期待できる人物と感じました。何より自分と同じ年代の人が頑張っ

（栗生外院 山口）

33歳の日記

検索

<http://blog.kurata.tv>

倉田哲郎さんのブログを検索

携帯電話でも見られます <http://mobile.kurata.tv/>



“若さで挑戦”×“市民のチカラ”＝“箕面の未来”

まちづくりニュース

“市民のチカラ！”

箕面の明日をつくる会 箕面市箕面1-1-45

平成20年5月発行

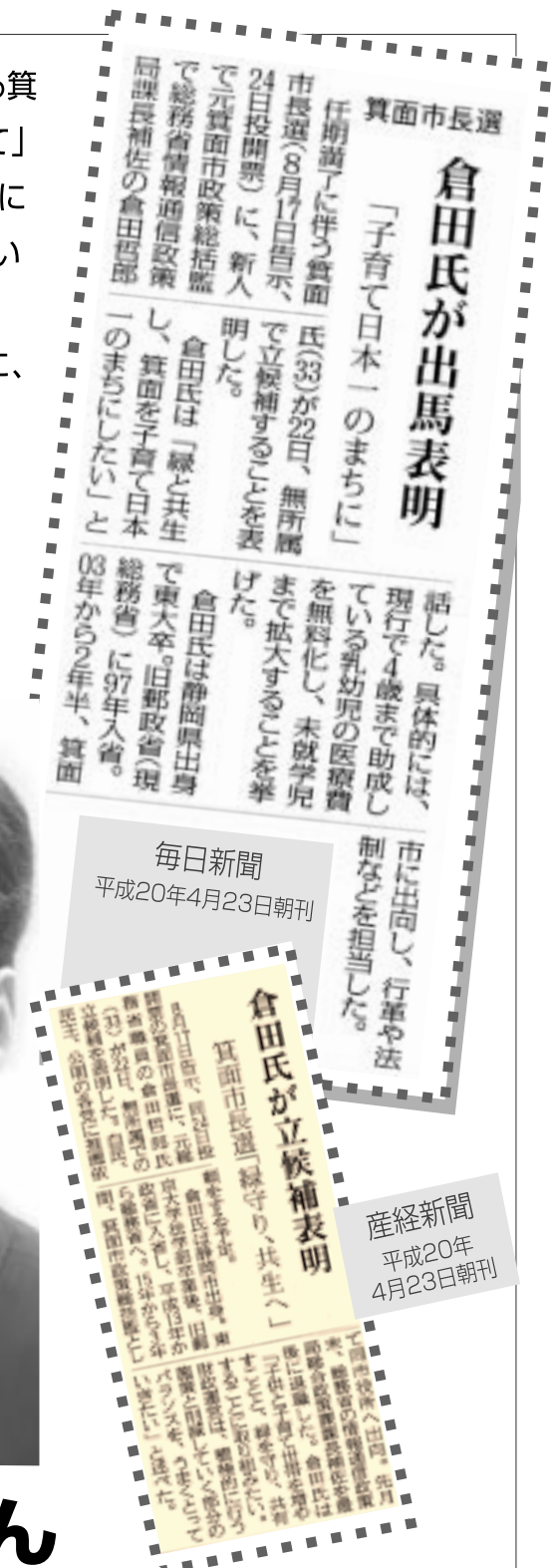
4月23日の新聞各紙朝刊で、倉田哲郎さんが今年8月に行われる箕面市長選挙へ“挑戦”することが報道されました。私たちは、「子育て」「緑」「安心」を強く主張し、“若さで挑戦”する倉田哲郎さんの発想に呼応し、“市民のチカラ”で新しい箕面のまちづくりにチャレンジしたいと考えています。“若さで挑戦”×“市民のチカラ”＝“箕面の未来”「箕面の“市民力”がスゴい」と繰り返し語る倉田哲郎さんとともに、“市民のチカラ”を集めて箕面の未来を拓いていきましょう！

「まちづくりニュース“市民のチカラ”第1号」では、「倉田哲郎さんってどういう人?」「どういう考え?」「箕面市役所で何をやっていたの?」を紹介します。

【倉田哲郎さんのプロフィール】

- 昭和49年（1974年）静岡県清水市に生まれる
- 平成 9年（1997年）東京大学法学部卒業 郵政省入省
平成13年（2001年）から総務省
- 平成15年（2003年）から箕面市役所に勤務
「改革」と「政策」を担当
- 箕面市役所では、「行政評価・改革推進委員会」発足など「変化の波」を起こす一方、「子ども部」「地域振興部」の創設や、市民の側に立った「総合窓口」の実現など、「新しい時代」にふさわしい行政へと行革を進めた。
- 平成18年（2006年）総務省に戻るも、慣れ親しんだ箕面の地で地方自治の仕事を目指し、平成20年（2008年）3月退職。
- 趣味・特技は、日本泳法（水府流太田派）
日本水泳連盟主催の全国大会では団体戦優勝。
- 家族は、箕面で出会った妻と、平成19年（2007年）9月に箕面で生まれた息子。

くらたてっろう 倉田哲郎さん



倉田哲郎さんは箕面市役所で何やってたの？

倉田哲郎さんは、箕面市役所で何をやってたの？

今回、調べれば調べるほど、当時の倉田哲郎さんの仕事ぶりには驚かされます。

倉田哲郎さんは、梶田市長・藤沢市長の2代にわたる市長のもと、市役所運営を支えてきました。

その時、「政局がどうであれ、行政（市役所）はやるべきことをやらねばならない」

そう強く語っていた倉田哲郎さんの揺るぎない信念で成し遂げてきたことの数々。

確かな先見性・構想力で、自ら先頭に立った仕事の一端を紹介します。

行動力と交渉力で 箕面サンプラザを再編整備！！

実績

倉田哲郎さんの真骨頂は

プランを大胆かつ綿密に実行する行動力と交渉力にある。

☆箕面サンプラザ（箕面文化・交流センター）の機能再編

困難を極めた地階「スーパー跡」の取得交渉、再整備財源

を確保するため、市有地等の売却方式を編み出す。すでに

市役所第2別館は予定を上回る金額で売却。今や郷土資料

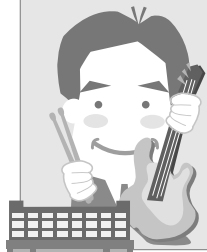
館には多くの人が訪れ、使いやすくなった。

市民ギャラリーと多目的ホール、明るく広くなった

子育て支援センターと多世代交流スペース、

新設された音楽スタジオは多くの若者が利用

する。倉田哲郎さんのねらいは確かだった。



倉田哲郎さんがやったこと

箕面市役所でこんな仕事をしていました。

子ども

- 休日夜間の子ども救急体制のため、「豊能広域こども急病センター」を箕面市に誘致。
- 子ども政策を総合的に推進するため、教育委員会に「子ども部」を創設
- 学校・幼稚園・保育所の安全対策の強化（警備員を配置、フェンスの整備、監視カメラの設置、校門のオートロック化、緊急通報システム整備、防犯ブザーの配布、防犯用具配布など）
- 不審者情報などの市民安全メールの創設
- 青色安全パトロール車の導入
- すべての小中学校、公共施設の耐震対策と、アスベストの調査・対策を実施
- 小中学校へのインターネットを使った教育プログラム導入実験
- 学校を利用する高齢者や障害のある子どもに配慮し、東小學校にエレベータを設置
- 大阪府に初の小中一貫校（施設一体型）「とどろみの森学園」の実現

みどり・環境

- 「みのお山麓保全ファンド」を創設し、市民の手による山並み・緑の保全活動を支援
- 第一清掃工場跡地の活用可能性と安全性の確認のため「土壌環境調査」を実施
- 多世代がつどえる場の提供として、唐池公園の大型遊具の改修を実施

安全・安心

- 災害・犯罪を含め危機管理体制を確立するため、市民の安全を守る核となる「市民安全政策課」を創設
- 迅速な消防活動を実現するため、消防梯子車の更新や、新型の消防通信司令システムの導入
- タッキー（みのおエフエム）を有効活用し、消防署との連絡体制や、広報紙への情報掲載を強化
- 公園遊具の安全一斉点検の実施

活性化

- 商業・観光業・農業とNPOなどの市民活動の相乗効果を発揮させるため、「地域振興部」を創設
- 箕面駅前・滝道の活性化を仕掛ける箕面わいわい館を設立。橋本亭の復活・箕面山七日市を支援。

人材と財源を有効活用し 市民サービスを拡充！！

実績

倉田哲郎さんがめざしたのは、単なるコスト削減ではない。

例えば保育所を再編し、

☆保育所定員の拡大→100人増

☆休日保育を新たにスタート

☆一時保育・延長保育を拡大

例えば市役所窓口部門を再編し、

☆市民が「たらい回し」にされず、1つの窓口で手

続きを済ますことのできる「総合窓口」を実現

☆市役所1階でできる手続き数

（13業務93手続き→24業務151手続きへ拡大）

☆窓口職員の配席を市民との対面方式に変更



- 箕面駅前・桜井駅前の活性化緊急特別対策を提案・決定。箕面駅前整備計画の策定に着手
- 新たな船場のまちづくりを支援するため「都市再生調査」を実施

福祉・くらし

- 柔軟できめ細かな高齢者サービスを提供する「街かどデイハウス」に助成。
- 高齢者や障害者の在宅生活の拠点としての「光明の郷ケアセンター」「障害者福祉センターささゆり園」を再整備。
- 公共施設の予約をインターネットでできる公共施設予約システムを拡充
- 路線バスの環境配慮とバリアフリーを両立するため、高齢者も乗りやすいノンステップバス&低公害型車両への変更誘導策を実施
- 桜井駅の利便性向上のため、エレベータ・多目的トイレを新設

協働

- 市民の声を行政に反映するため「市民満足度アンケート調査」を導入
- 市民団体・NPO、自治会などを巻き込んだ「地域と行政の協働の新しい仕組みのあり方」プロジェクトの実施
- 市役所の業務見直しと同時に、市役所へのNPOや民間活力の積極的な導入
- 地域NPOや民間活用による指定管理者制度を公共施設に導入（コミュニティセンター、青少年教学の森野外活動センター、市民活動センター、メイプルホール、グリーンホール、箕面文化・交流センター、総合運動場、ささゆり園、あかつき園、ワークセンターささゆり、老人デイサービスセンター、医療保健センター、介護老人保健施設、駐車場、老人いこいの家）
- 外郭団体（国際交流協会、文化振興事業団、障害者事業団、社会福祉協議会、あかつき福祉会、医療保健センター、シルバー人材センター等）の「経営改革計画」の策定や、人材登用のため事務局長の民間公募制度の創設

経営センス

- 市民の視線に立った市役所サービスを実現するため「市民サービス政策課」を創設
- 新たな財源確保のため、市役所に広告事業を導入、市役所の窓口封筒をはじめ、ホームページや広報紙を広告媒体として活用
- 監査法人トーマツの協力を得て、市役所に民間企業の財務分析手法を導入
- 民間企業（コクヨ）とタイアップし（無償で）市役所の業務見直しを実施
- 市役所を外部の視点からチェックするため、新たに「行政評価・改革推進委員会」を設置
- 財務会計システムをはじめ市役所のITシステムの整理・効率化とコストダウンを実施
- 市役所の職員採用試験に大量の若手職員面接を導入するなど、採用制度を改革

子どもに投資！子どもを大事に！子どもを育てる！

子育てしやすさ 日本一！！

箕面が将来も活気ある“まち”であり続けるために、子どもたちが健やかにたくさん育つことが必要です。

子育てしやすさ日本一をめざします。

例えば…

- 子どもの医療費助成の対象年齢を拡大します
- 小中学校の教育を充実し、教育環境を整備します

緑を守る！緑を増やそう！緑と暮らす！

緑・住みやすさ 最先端！！

箕面のまちを特徴づける一番の魅力は、山の緑に代表される豊かな自然環境と良好な住環境です。

こうした魅力を守り、さらに発展させます。

例えば…

- 山の緑・街なみの緑・農地の緑を守ります。
- 路線バスの利便性向上に取り組みます。

みんなの市役所 元気印！！

子どもにツケをまわさないよう財政の収支バランスを再生するとともに、

職員が市民のために能力を最大発揮できる市役所に改革し、

市民・利用者の視点で市民サービスを向上させます。

例えば…

- 身近な場所での住民票発行や、繁忙期の休日開庁など、便利で使いやすい市役所にします。
- 税金を1円たりとも無駄にしないコスト意識を徹底し、市民サービスを改善します。

お年寄りから 子どもまで、安心・支えあい最優先！！

お年寄りから子どもまで、障害のある人もない人も、

誰もが互いに優しく支えあい、安心できるまちづくりを進めます。

例えば…

- お年寄りを地域全体で支えていく活動を進めます。
- 箕面市立病院と、池田・豊中の市立病院、国立循環器病センター、阪大病院などとの連携を強化し、医療サービスを充実します。